

令和元年度 前永田を良くする会

活動内容について

①活動についての所感

- ・十数年来から地区の高齢化が進んでおり、「きつい作業など」への参加者の減少は否めない。
- ・共同活動では、地域住民との交流も生まれ、他の行事などへの呼びかけにも効果が表れている。
- ・施設の長寿命化で、農道のコンクリート舗装化を進めており、草刈り作業は少なくなりつつある。
- ・水路の作業は、三面張り箇所もあり、共同活動による部分補修や、施設の長寿命化では水路底のコンクリート化など維持活動に取り組んでいる。

②草刈りや泥上げ活動

作業日の設定については、(土)、(日)を基本にして実施しているが、参加者の不足など、残作業は少数者が工夫し、数日に配分対応している。

③植栽活動（遊休農地利用・花畑）（公民館脇・花壇など）

主要な作業については、(土)、(日)を基本にし、季節の花を追加したり、植え替えするなど、地域に明るい景観環境を保持している。

④外来種駆除活動

ジャンボタニシ対策では、「駆除の効率を高める工夫」が必要であり、次年度には、実地調査による検討を重ねて結果の報告をしたい。

⑤生態系保全活動

公民館脇の水路でのみ、限られた生き物のために素掘り底を維持、水草の適正な継続管理による、メダカ、ドジョウ、ゴリ、タナゴ、カニ、トンボ・ヤゴなど生態系の維持活動を次年度も行っていきたい。